2022年度

第40回　インテリアコーディネーター資格試験

二次試験（プレゼンテーション・論文試験）問題用紙

試　験　日：2022年12月4日
試 験 時 間：12：30～15：30（180分）

（試験上の注意）

1．受験票と写真票は、あらかじめ受験番号記載面を外にしてそれぞれ三つ折りにし、受験番号記載面を上にして机上（原則として通路側）に置いてください。

2．試験開始前に問題用紙（1部）、解答用紙（1枚）があることを確かめてください。試験開始直後に下書き用紙（課題Ⅰ用、課題Ⅰ・Ⅱ用　計2枚）があることを確かめてください。不足があれば速やかに手をあげて試験監督員に申し出てください。

3．問題用紙は試験開始の合図があるまで開かないでください。

4．解答用紙の所定欄に、二次受験番号と氏名を必ず記入してください。
※解答用紙提出前に、受験番号と氏名を記入したかご確認ください。

5．試験中使用できるものは、直定規（30cm以内）、三角スケール、三角定規、勾配定規、コンパス、ヘキサスケール（直定規と三角スケールの機能のみを持つもの）、型板（テンプレート）の円定規だけのもの（なお、一部に角度表示のあるものでも可）、字消し板、製図用ブラシ、色鉛筆（18色以内。色の選択は自由。軸（木や紙）に芯を通したものに限る。）、ミニ鉛筆削り及び筆記用具（鉛筆・シャープペンシル、プラスチック製の消しゴム）です。

6．上記5．に掲げるもの以外（例えば携帯電話、電卓、参考書など）の使用を禁止します。円定規以外の型板（テンプレート）は使用できません。

7．試験問題の内容に関する質問については、誤植の確認以外は一切お答え致しません。乱丁落丁があれば、手をあげて試験監督員に申し出てください。

8．試験開始から120分以内及び試験終了5分前以降は退室を禁止します。退出可能時間内に退出される方は手をあげて合図をし、解答用紙を試験監督員に手渡して、静かに退室してください。なお、試験開始時刻を繰り下げて実施する場合、途中退室を禁止する場合があります。

9．問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

10．この試験問題を無断で転載、複写複製（コピー）または販売することは、著作権法により禁じられています。

公益社団法人　インテリア産業協会

無断使用禁止　複製・無断使用禁止　公益社団法人 インテリア産業協会

解答にあたって

課題Ⅰプレゼンテーションおよび課題Ⅱ論文の各設問の解答にあたっては、未記入の解答欄が生じないように、時間配分に注意すること。

［ 課題Ⅰ　プレゼンテーション ］

「自然豊かな郊外に建つ住まいのインテリアコーディネート」

２人の子ども（小学生）がいる夫婦から、図－１に示すLD、ワークスペース、デッキスペースのインテリアコーディネートを依頼された。都会にはないゆっくりしたリズムの生活を望んでいて、LDは屋外とのつながりを考え、開放的なインテリアを希望しているということである。

下記の条件により、依頼主に説明するためのプレゼンテーション資料を作成しなさい。

１．空間の条件

- 建物は木造２階建てである。
- 平面および開口部の形式・位置・寸法は図－１に示す通りである。
- 寝室群は２階にある。
- 図－１の二重破線部分（＝＝＝）には、建具および壁を設定する（建具のみでもよい）。その他の開口部の形式・位置・寸法は変更できない。
- 室内の床は、薪ストーブまわりの150角タイル貼り以外は、すべてナラ材（ウレタンクリア塗装、幅150）のフローリングとする。
- デッキスペースの床は、人工木材（幅200）とする。

２．依頼主の要求条件

⑴　LDについて

- Ｌは西側に配置する。
- Ｌには３人掛けソファー、イージーチェアとオットマン、小さめのテーブルを置き、屋外のデッキスペース越しに景色が眺められるようにする。
- Ｄは東側に配置する。
- Ｄには大きなテーブル（W2400×D900）に食事用の椅子４脚を置き、簡単な仕事（パソコン作業等）や子どもの学習などに使う作業用の肘掛け椅子２脚を置く。
- 図－１に示された位置にある薪ストーブ（図－２参照）は、暖房のほか、料理を温めるのに使うこともある。また、適切な位置に薪棚（図－３参照）を置く。
- 薪ストーブのまわりには２～３人が火を囲んで床座でくつろげるスペースをつくる。
- ＬとＤの間には、視覚的に一体感がもてるような高さの間仕切り家具（W1500～1800、D600程度）を置く。

Ｌ側上部は飾り棚、下部は扉付き収納とする。Ｄ側は子ども用図書、子どもの玩具類、書類・図書などを仕舞う。

(2) ワークスペースについて

- 仕事の場として使う。
- Ｌとの間の建具は、開口幅900㎜以上の片引き戸とする。
- 机（W2000×D700）、作業用椅子、可動式袖机（机の下部に置く）、書類棚（W2000×D300）を置く。

(3) デッキスペースについて

- 東側にはデッキスペースでの食事を楽しむためのテーブルと椅子４脚を置く。それらの配置は、キッチン・ダイニング・薪ストーブとのつながりを考慮する。
- 西側には屋外の景色を眺めるためのデッキチェア２脚を置く。

(4) その他のインテリア計画

- それぞれの生活の場面に応じた照明器具を適切に配置する（デッキスペースも含む）。
- ウインドートリートメント、ラグ、絵画、観葉植物などのインテリアアクセサリーを配置する。

設問－１　インテリア平面図の作成（着彩すること）

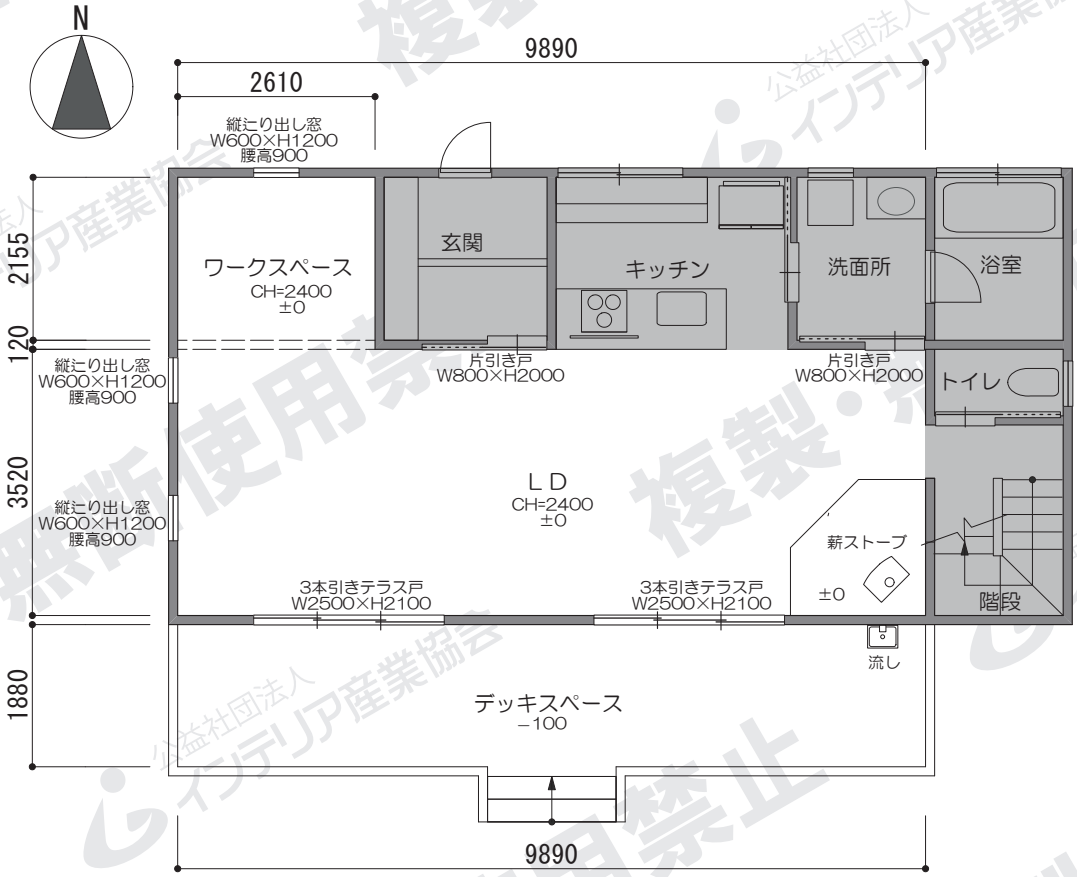
解答欄１にインテリア平面図を作成しなさい。

- 家具類（薪棚を含む）については、形状がよくわかるように表現し、名称と主要な寸法を記入すること。
- 照明器具については、ブラケットやスタンド式のものは実線で、天井面のものは破線で図示すること。
- スペース名を記入すること。
- 依頼主にインテリアのイメージをわかりやすく伝えるために、カラーコーディネートに配慮して色鉛筆で適切に表現すること。
- ウインドートリートメントと床の仕上げ材の名称を記入すること。

設問－２　間仕切り家具の正面図の作成（着彩しなくてよい）

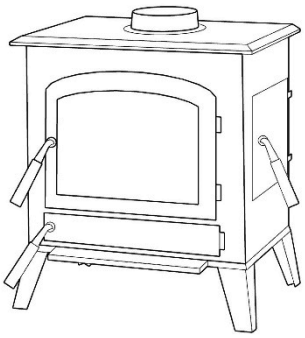
解答欄２にＬとＤそれぞれから見た間仕切り家具の正面図を作成しなさい。

- それぞれの使い方がわかるように作成すること。
- 内部の構成要素（引き出し、棚）は、破線で表現すること。
- 必要な部分の寸法と主要な仕上げ材を記入すること。



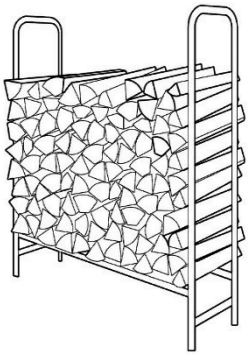
図－１　現況平面図　（S＝１：100）

• 網掛け部分 ▒ は計画対象外



図－２　薪ストーブ（イメージ図）

W530×H600×D400



図－３　薪棚（イメージ図）

W800×H1250×D340

［ 課題Ⅱ　論文 ］

設　問　カーテンによる寒さ対策について

分譲マンション（RC造）に住む依頼主から、北側にある部屋の腰窓まわりの寒さ対策について相談があった。この腰窓にカーテンを新規に取り付けて対策するとした場合のアドバイスを解答欄３に550～600文字で記述しなさい。以下の２つの事柄についてそれぞれ段落に分け、理由を含めて記述すること。

１．カーテンの生地の選び方

２．カーテンの吊り方

複製・無断使用禁止
公益社団法人 インテリア産業協会